

第35回戦争と原爆の遺構めぐり

被爆者の皆さんに直接被爆した場所を案内していただき、あらためて被爆者の皆さんの思いを聞きながら、戦争と原爆の跡をたどる企画です。核や戦争を許さないとの決意を新たにし、被爆者の皆さんの思いを今後の継承活動に活かしていくために、被爆60年を機に継続して取り組んできました。今回で35回目になります。

今回は、長崎原爆被災者協議会会長の田中重光さんにお話を伺います。田中さんは、4歳の時に、2歳の弟と祖父と一緒に爆心地から約6km離れた疎開先である時津町の父の実家の庭で遊んでいるときに被爆しました。お母さんは翌日から国民学校で負傷者の手当を行い、お父さんは爆心地近くで遺体やがれきを片づけたそうです。ご両親が見たことや体験したこと、平和に対する思いなどをお話していただきます。

貴重なお話です。ぜひ多くの皆さんに田中さんから、直接話を聞いていただき、平和について考える機会にさせていただきたいと思います。

日 時 : 2022年4月10日(日) 14時 ~ 16時

場 所 : 長崎原爆被災者協議会 会議室 (地下)

証言者 : 田中重光さん(長崎原爆被災者協議会会長)

* 参加せれる場合は、必ず「崎山」へご連絡ください。新型コロナ感染防止対策のため、マスクの着用などにご協力ください。

主 催 : 長崎県被爆二世の会

問い合わせ先 事務局長 崎山昇

携帯電話 090-2519-2066